

歴史学科履修モデル2(ヨーロッパ近現代史の理解を通して、国際社会に通じる深い歴史認識を持った人材)

	1年次		2年次		3年次		4年次		備考	卒業要件 単 位		
	科目名	必・選	科目名	必・選	科目名	必・選	科目名	必・選				
社会知性基盤科目	S i 基礎科目	専修大学入門ゼミナール データサイエンス入門	○ ▲							2		
	S i 応用科目			分野横断科目など				△				
教養科目	人文科学基礎科目	歴史と地域・民衆など		◎					「人文科学基礎科目」「社会科学基礎科目」「自然科学系科目」から8単位以上修得する。	10		
	社会科学基礎科目	社会科学論など		◎								
	自然科学系科目	科学論A1など						◎				
	保健体育系科目	スポーツリテラシー (1) スポーツウェルネス (1)	○ ○	スポーツ論 (ウェルビーイング) な	△							
外国語科目	英語	A群 Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)	◎ ◎						A群、B群からそれぞれ2単位合計4単位修得する。	8		
		B群 Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)	◎ ◎									
		英語以外の外国語 導入	英語以外の外国語初級1 a (1) 英語以外の外国語初級1 b (1) 英語以外の外国語初級2 a (1) 英語以外の外国語初級2 b (1)	◎ ◎ ◎ ◎								「導入」の各科目から同一言語の初級1 a・1 b・2 a・2 bを修得する。
			海外語学研修	海外語学短期研修1 (ドイツ語)							△	
	単位互換科目											
	専門科目	必修科目	専門入門ゼミナール	○	ゼミナール1 (4)	○	ゼミナール2 (4)	○	ゼミナール3 (4) 卒業論文 (8)		○ ○	22
選択必修科目1		欧米史概説1 欧米史概説2 アジア史概説1 アジア史概説2	◎ ◎ ◎ ◎							8		
選択必修科目2				歴史資料研究法1 歴史資料研究法2 歴史資料研究法5 歴史資料研究法6	◎ ◎ ◎ ◎					4		
選択科目		総合世界史1 総合世界史2 総合世界史3 総合世界史4	△ △ △ △	近代ヨーロッパの社会と政治1 近代ヨーロッパの社会と政治2 ヨーロッパの国家と民衆1 ヨーロッパの国家と民衆2	△ △ △ △	欧米文化史1 欧米文化史2 世界史講義7 世界史講義8	△ △ △ △			42		
				アメリカの人種と政治1 アメリカの人種と政治2 日本近現代の政治と社会1 日本近現代の政治と社会2 世界史講義5 世界史講義6	△ △ △ △ △ △	イスラーム史1 イスラーム史2 アジア文化史1 アジア文化史2 ジェンダー史1 ジェンダー史2 東アジア関係論1 東アジア関係論2 生きることの日本近代史1 生きることの日本近代史2 日本文化史1 日本文化史2	△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △					
自由選択修得要件単位となる科目								△	社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、専門科目の超過修得単位および単位互換科目は自由選択修得要件単位に算入される。	28		
年次修得単位の目安	38		38		36		12			124		

注：「必・選」欄における「○」は必修科目、「◎」は選択必修科目、「△」は選択科目、「▲」は必修修得科目を示す。

注：科目名の後ろに記載されている（ ）内の数字は、単位数を示す（記載のない科目は2単位）

※「履修モデル」はあくまでも目安として、履修登録をする際には、必ず入学年度の学修ガイドブックに記載されている、自身が所属する学科の「社会知性基盤科目、教養科目、外国語科目、単位互換科目一覧」、「専門科目一覧」で卒業要件が満たせる計画であることを確認すること。

